

「この道」ではみなが潰れる 安倍政権はどこから見ても賃下げ内閣

現金給与総額の実質は10月もマイナス2.8%。昨年10月に比べて物価が3.4%高くなったのに、あいかわらず賃金が追いついていない。これで2013年7月から16か月連続で低下した。前年の同じ月と比べると、現金給与総額にはボーナスが含まれ、7・8月と12月が高くなるためだ。では、毎月「きまって支給する給与」は、どのように動いてきたのだろうか。

「きまって支給する給与」は、ボーナスを含まないが、残業代や家族手当・通勤手当などを含む。2010年の平均を100として、物価の動きを調整した実質は、2008年初めから図のように動いてきた。麻生政権のもとでリーマンショックの前から低下し、民主党政権で100前後に戻った。それが安倍政権になるといきなり下がり、その後もさらに大きく低下した(2013年春先はやや戻したが)。安倍政権はどこから見ても賃下げ内閣であり、景気を墜落させている。「この道」をつき進むことを許せば、みなが潰れてしまうだろう。

月別実質賃金指数(2010年の平均=100)の推移 きまって支給する給与(5人以上)(調査産業計、製造業)

